

病院の概要

- 病床数 337床
- 医師数（研修医を除く） 55名（うち指導医数 41名）
- 研修医数 1年目 7名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 東海大学・徳島大学・秋田大学・山梨大学・杏林大学・福井大学・順天堂大学・岐阜大学・日本医科大学・大阪医科大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 神経内科 腎臓内科 糖尿病・代謝内科 血液内科 リウマチ科 緩和ケア内科 外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 耳鼻咽喉科 眼科 泌尿器科 婦人科 皮膚科 麻酔科 放射線科 リハビリテーション科 救急科 病理診断科 歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 703名 ● 1日平均入院患者数 294名
- 主な認定施設 日本外科学会専門医修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設



研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としてしています。

厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患、手技」をこの2年間で達成できることを第一の目的としています。

専門医になったときの實力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思います。



【備考】ローテーションの順序は人数のバランスの配慮から、各研修医ごとに異なります。当院での評価方法は、EPOC<エポック>（オンライン臨床研修評価システム）を導入。

プログラム 例 彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床プログラム（募集定員8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	必修		必修		必修		当院必修		必修		当院必修	
	内科		消化器科		循環器科		外科		救急		麻酔科	
2年目▶	当院必修	必修	必修	当院必修	必修	当院必修	当院必修	自由選択期間				
	放射線科	地域医療	内科(外来)	精神科	救急	整形外科	泌尿器科	自由選択(5か月)				

必修：内科6か月（内科、消化器内科、循環器内科）、救急3か月、外科2か月、麻酔2か月、放射線1か月

内科外来1か月、整形1か月、泌尿器1か月、精神1か月、地域医療1か月

自由選択：5か月（内科、消化器、循環器、外科、救急、麻酔、放射線、整形、泌尿器、脳外、眼科、小児、産婦）

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：45万円/月 2年次：50万円/月
- 諸手当▶ 当直手当 1年次：1万5千円 2年次：2万5千円
- 保険▶ 社会保険、厚生年金保険、埼玉県医師会厚生年金基金、労働者災害補償保険・雇用保険
- 勤務時間▶ ①月～金：9時～17時30分 土：9時～13時（隔週）②月～金：9時～18時
- 当直▶ 土日、日当直あり（4回～/月）
- 休暇▶ 日曜、祭日、年末年始（12/30午後～1/3迄）、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶ 住宅貸与、家賃補助あり（5万円まで/月）
- その他▶ 学会・研修会等参加の費用負担あり（8万円/年） 3回/年(公休扱い)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 地域医療の協力型病院
 - ・小池内科クリニック（土呂）
 - ・平戸市民病院（長崎）
 - ・杉並リハビリテーション病院
- 小児科・産婦人科の協力型病院
 - ・柏厚生総合病院
 - ・自治医科大学附属さいたま医療センター
 - ・上尾中央総合病院
- 精神科の協力型病院
 - ・大宮厚生病院
 - ・横浜相原病院

当院のキーワード

彩の国東大宮 メディカルセンターの特徴



●救急部

初療室：4床、経過観察用ベッド9床、救急専用診察室：2部屋を整え、今まで以上に急性期対応型に進化した病院になっております。新病院移転後、救急搬送件数は年間6500件以上を受け入れています。1次、2次救急を中心に産科、小児科以外の患者はすべての受入れを目指しています。救急部の研修では、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。

●ICLS講習会

日本救急医学会認定コースとして年3回～4回院内開催をしております。研修医もインストラクター取得を目指しています。

●埼玉県がん診療指定病院としての機能

放射線治療（リニアック）・PET-CTの導入、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設しました。さらに、さいたま市初の緩和ケア病棟として22床を新規開設し、がんに特化した婦人科を新規立ち上げるなど、埼玉県がん診療指定病院として必要なハード面の充実を図っています。

●指導医数

臨床経験7年目以上で、指導医の資格がある上級医は「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師の8割以上が指導医であり、教育熱心な指導医からのマンツーマン指導が可能な環境になっています。

●医局・研修医室・シミュレーションセンター

医局のデスクの他に、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。



研修責任者から

臨床研修センターの役割は、研修内容の充実と研修環境の改善を図ることで、研修医の皆さんが臨床研修の目標を達成できるように、後方から支援しています。

そのため研修医の皆さんが、前向きに研修に励んでいるかなど、一人ひとりのメンタル面にも配慮しています。

また社会人としての常識やチーム医療に必要なコミュニケーション力など、医療面以外で大切なことを教育するのも、大切な役割の1つです。

現場だけでなく、OFF-JTで学ぶ機会も充実させ、研修医同士、切磋琢磨して、頑張ってもらっています。

日々の研修では、大変なことや辛いこともたくさんあると思います。

そんな時に、仲間と、お互い励まし合い、支えあい、高め合いながら、医師としての礎を作ってもらえたらと願っています。一緒に充実した研修生活が送れるように頑張りましょう。



臨床研修センター長
風間 博正

先輩研修医から

研修医となり、それまで学生時代に大学病院で行った臨床実習の雰囲気しか知らなかった私にとって、この病院での指導医の先生方との距離の近さをとても新鮮に感じました。

研修では、数多くの勉強会・シミュレーター設備が存在し、勉強に役立てることができるのが特色です。救急医療におけるICLSやBLS、ランチョンセミナーや医局勉強会、CVについても講習会があり、救急科の先生からマンツーマンで指導していただけます。院内学会も定期的に行われており、研修医の時期から発表する機会をいただくことで将来の症例・研究発表にむけての礎とする貴重な経験をつむことができます。

やる気さえあればどんどん臨床経験・手技を身につけていくことができます。一緒に頑張って成長していきましょう！



研修医1年目(平成28年度入職)
持田 賢太郎

女性医師支援コーナー

- ・育児休業制度
- ・短時間勤務制度
- ・深夜業務の制限
- ・時間外労働時間の制限
- ・子の看護休暇制度
- ・病院のすぐ横に、24時間保育室を運営

連絡先

彩の国東大宮メディカルセンター

臨床研修センター 野口 寛美

〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522

TEL 048-665-6111(代表) FAX 048-665-6112

E-mail kenshui@shmc.jp

URL http://www.shmc.jp/

アクセス JR宇都宮線 土呂駅から徒歩11分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学について

- 病院見学の申込みは、随時受け付けております。病院HPの応募フォームからお申し込みください。
- 東京ビックサイトで開催される春・夏のレジナビにも参加いたしますので、ぜひブースにお立ち寄りください。